



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月6日

東

上場会社名 株式会社中山製鋼所  
コード番号 5408  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所  
URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>  
(氏名) 箱守 一昭  
(氏名) 阪口 光昭 (TEL) 06-6555-3035

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	47,682	0.5	2,593	△31.3	2,568	△32.9	1,699	△41.1
2024年3月期第1四半期	47,430	△0.8	3,777	15.3	3,827	15.9	2,885	△6.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,693百万円(△45.1%) 2024年3月期第1四半期 3,086百万円(△0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	31.38	—
2024年3月期第1四半期	53.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	153,980	104,567	67.9
2024年3月期	152,087	104,553	68.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 104,567百万円 2024年3月期 104,553百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	31.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	18.00	—	22.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	△3.1	4,600	△29.9	4,400	△32.6	3,300	△24.9	60.93
通期	178,000	△3.5	10,700	△13.2	10,000	△18.3	7,200	△19.1	132.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	63,079,256株	2024年3月期	63,079,256株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	8,921,997株	2024年3月期	8,921,772株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	54,157,398株	2024年3月期1Q	54,136,288株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、国内景気は緩やかに持ち直しているものの、円安に伴うコスト負担の高まりや個人消費の落ち込みにより改善が進まず力強さを欠いております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、中国経済低迷の長期化に伴う鉄鋼需給バランスの悪化、人手不足や建設業での時間外労働規制の適用に伴う工期の遅れなどの要因により、建設・製造業向けの国内鉄鋼需要は落ち込みを見せる厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画（2022年度～2024年度）の方針に沿って、グループの協働施策を推進するとともにコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高476億82百万円(前年同期比2億51百万円増)、営業利益25億93百万円(前年同期比11億83百万円の減益)、経常利益25億68百万円(前年同期比12億59百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益16億99百万円(前年同期比11億86百万円の減益)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、鋼材販売数量の増加により増収となった一方で、鋼材販売価格の下落及び主原料価格の上昇によりスプレッドが悪化し、減益となりました。これらの結果、売上高は470億86百万円(前年同期比1億58百万円増)、経常利益は23億94百万円(前年同期比13億23百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、鋳機部門の受注増や原価改善などにより、売上高は4億18百万円(前年同期比1億12百万円増)、経常利益は19百万円(前年同期比66百万円の増益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は3億63百万円(前年同期比10百万円減)、経常利益は1億88百万円(前年同期比7百万円の増益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,539億80百万円となり、前連結会計年度末と比べ18億92百万円増加しました。これは主として、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）の増加によるものであります。

負債については、494億12百万円となり、前連結会計年度末と比べ18億78百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産については、1,045億67百万円となり、前連結会計年度末と比べ14百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、中国の需給悪化や国内需要の低迷等により、鋼材販売数量及び鋼材販売価格が期初の想定には届かず、売上高は当初予想を下回るも、スクラップなどの主原料価格及びエネルギーコストの期初想定を下回る見通しや収益改善策の追加などにより利益は当初の予想通りを見込み、売上高のみを修正しております。

以上の状況を踏まえ、2025年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期（累計）は、売上高900億円、営業利益46億円、経常利益44億円、親会社株主に帰属する四半期純利益33億円を、通期は、売上高1,780億円、営業利益107億円、経常利益100億円、親会社株主に帰属する当期純利益72億円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,487	16,382
受取手形、売掛金及び契約資産	37,960	37,351
電子記録債権	9,142	10,006
商品及び製品	16,074	16,693
仕掛品	5,270	5,360
原材料及び貯蔵品	10,648	12,091
その他	929	714
貸倒引当金	△40	△52
流動資産合計	96,472	98,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,605	7,685
機械及び装置（純額）	15,590	15,690
土地	22,603	22,603
その他（純額）	1,333	1,307
有形固定資産合計	47,132	47,287
無形固定資産	454	436
投資その他の資産		
投資有価証券	3,607	3,583
差入保証金	2,367	1,966
その他	2,084	2,188
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	8,028	7,707
固定資産合計	55,615	55,431
資産合計	152,087	153,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,742	21,571
電子記録債務	1,654	1,811
短期借入金	9,565	9,432
未払金	3,042	2,801
未払費用	1,987	2,292
未払法人税等	1,629	965
賞与引当金	1,074	479
環境対策引当金	57	57
解体撤去引当金	109	97
その他	909	1,115
流動負債合計	38,772	40,626
固定負債		
長期借入金	62	50
繰延税金負債	3,412	3,407
再評価に係る繰延税金負債	1,001	1,001
環境対策引当金	19	18
解体撤去引当金	187	187
関係会社事業損失引当金	627	627
退職給付に係る負債	2,214	2,248
その他	1,237	1,245
固定負債合計	8,762	8,786
負債合計	47,534	49,412
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,841	7,841
利益剰余金	72,895	72,915
自己株式	△774	△774
株主資本合計	100,007	100,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,565	1,571
繰延ヘッジ損益	0	-
土地再評価差額金	2,389	2,389
退職給付に係る調整累計額	591	578
その他の包括利益累計額合計	4,545	4,539
純資産合計	104,553	104,567
負債純資産合計	152,087	153,980

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	47,430	47,682
売上原価	40,552	41,683
売上総利益	6,878	5,998
販売費及び一般管理費		
販売費	1,295	1,460
一般管理費	1,805	1,944
販売費及び一般管理費合計	3,101	3,404
営業利益	3,777	2,593
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	49	46
持分法による投資利益	46	22
その他	72	24
営業外収益合計	181	105
営業外費用		
支払利息	31	47
賃借料	34	33
その他	64	49
営業外費用合計	131	130
経常利益	3,827	2,568
特別利益		
固定資産売却益	531	0
その他	177	-
特別利益合計	709	0
特別損失		
固定資産除却損	287	7
その他	20	-
特別損失合計	307	7
税金等調整前四半期純利益	4,229	2,561
法人税等	1,343	861
四半期純利益	2,885	1,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,885	1,699

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	2,885	1,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199	6
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整額	0	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	200	△6
四半期包括利益	3,086	1,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,086	1,693
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	621百万円	696百万円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	46,877	297	—	47,175	—	47,175
その他の収益	—	—	255	255	—	255
外部顧客への売上高	46,877	297	255	47,430	—	47,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	50	8	118	177	△177	—
計	46,928	306	374	47,608	△177	47,430
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	3,718	△47	181	3,852	△24	3,827

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	3,852
セグメント間取引消去	△24
全社営業外損益(注)	△0
四半期連結損益計算書の経常利益	3,827

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	47,009	416	—	47,425	—	47,425
その他の収益	—	—	256	256	—	256
外部顧客への売上高	47,009	416	256	47,682	—	47,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	76	2	107	185	△185	—
計	47,086	418	363	47,868	△185	47,682
セグメント利益 (経常利益)	2,394	19	188	2,602	△33	2,568

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	2,602
セグメント間取引消去	△0
全社営業外損益(注)	△33
四半期連結損益計算書の経常利益	2,568

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。